

あいさつ



新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年、山形県内は、今まで経験したことのないような豪雨に見舞われ、当町においても甚大な被害が発生しました。河川の決壊、山腹崩壊、道路の欠損、住宅被害など、町の至る所で被害が発生し、一時は

避難指示を発令する事態となりました。昭和42年の羽越水害を経験した当町ではありますが、最上川の支流の決壊などは、まさに想定外の被害であり、改めて、自然の猛威、恐ろしさを思い知らされたところでもあります。

しかし、このような大災害ではありましたが、一人の犠牲者も出さずに済んだことは不幸中の幸いでありました。自主防災組織や消防団を中心に、地域の皆様が協力し助け合いながら災害対応をしていただいた結果であります。皆様には、改めて心より感謝申し上げます。災害の爪痕は、まだ至る所に残っておりますが、国の災害査定も無事終了し、これから本格的な復旧作業が始まりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

本年について申し上げますと、10月に、白鷹町は誕生してから60年を迎えます。人に例えると還暦を迎え干支が一巡し、新たな歩みが始まる年であります。また、第5次総合計画は前期計画の最終年度を迎え、平成27年度からの後期計画に向けた準備をする大切な一年となります。これまでのまちづくりの再確認を行い、皆様と共に新たな一步を踏み出せるよう、気持ちを新たにまちづくりに取り組んでまいります。

時代は急速に変化し、課題も多様化しております。しかし、どのような社会状況になろうと、町民の皆様が安心・安全に暮らしていける社会を築いていくことが町の責務であります。今年も、皆様との対話を大切にしながら、「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」を重点分野とし、「笑顔かがやき 心かよう美しいまち」の実現に向け邁進してまいります。

結びに、本年も、皆様にとりまして良い年でありますよう、心よりご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

白鷹町長 佐藤 誠七